

2018年度 いわき明星大学学生生活満足度調査
[報告書]

2019年3月1日

も く じ

1. はじめに3P
2. 調査結果	
(1)基本項目5P
(2)本学の選択理由、満足度、期待要望6P
(3)興味関心14P
(4)課外活動15P
(5)不安・悩み17P

はじめに

学生生活委員長 五十嵐 幸一

平成30年度の学生生活満足度調査は、例年同様「manab@IMU」を利用し、Web入力で回答を求める調査方法で実施しました。今年度も昨年度と同様の設問項目を設け、経年的変化が行えるように設定しました。

回答率は、平成30年9月1日現在の在籍学生969名中、485名の回答があり、50.1%でした。

今年度は事務局体制の変化や教養学部の募集停止という学部構成の変化により、学生を取り巻く環境に大きな変化がありました。看護学部の学生は年々増え、全体的に女性が多い大学になってきています。女性の割合が多く、薬学部も含め資格取得のために勉強に多くの時間を割いている、という本学の特徴を念頭に置いたシステムへの移行が求められてきています。しかし現体制ではまだまだ不十分なところがあり、図書館の開館時間や自習室の充実への改善が数字として現れてきています。また、それは同時に、部活動などの課外活動への時間が取れないことも意味し、学友会活動への関心が薄れてきているという結果にも現れてきているように思えます。

集計結果がそのまま学生の意向とは言えない部分もありますが、このアンケート結果が学修面はもちろんのこと、大学生活全体を通して充実した学生生活を送れるような施策やシステムを考える上での基礎資料となれば幸いです。

学生生活委員会

いわき明星大学学生生活満足度調査

1. 調査の目的

いわき明星大学の教育目標「全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成」を達成するために、学生意識、生活実態等について学生生活満足度調査を行う。

本学に籍を置く学生が、大学生活で直面する諸課題を解決し、より快適なキャンパスライフを具現化するための基礎資料とする。

2. 調査対象

2018年9月1日現在で在籍する全学部・研究科学生969名を対象とする。

3. 調査時期

2018年9月13日(木)～2018年10月31日(水)

4. 調査方法

学修支援システム「manab@imu」を利用しWeb入力により回答

5. 調査内容

(1)基本項目

(2)本学の選択理由、満足度、期待要望

(3)興味関心

(4)課外活動

(5)不安・悩み

6. 調査の組織

学生生活委員会

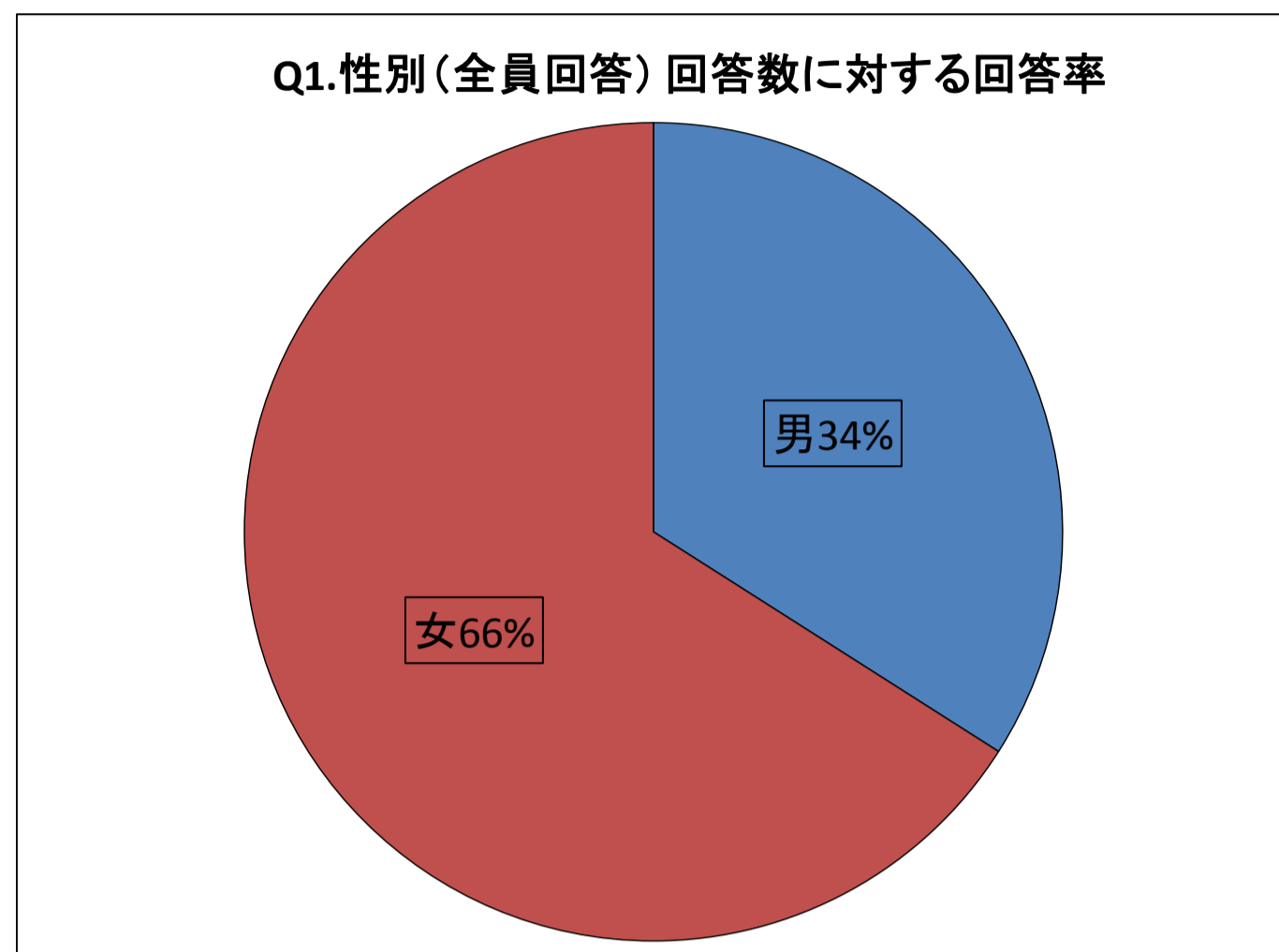
7. 回答状況

969名中485名の回答(回答率50.1%)

(1)基本項目

Q1. 性別(全員回答)

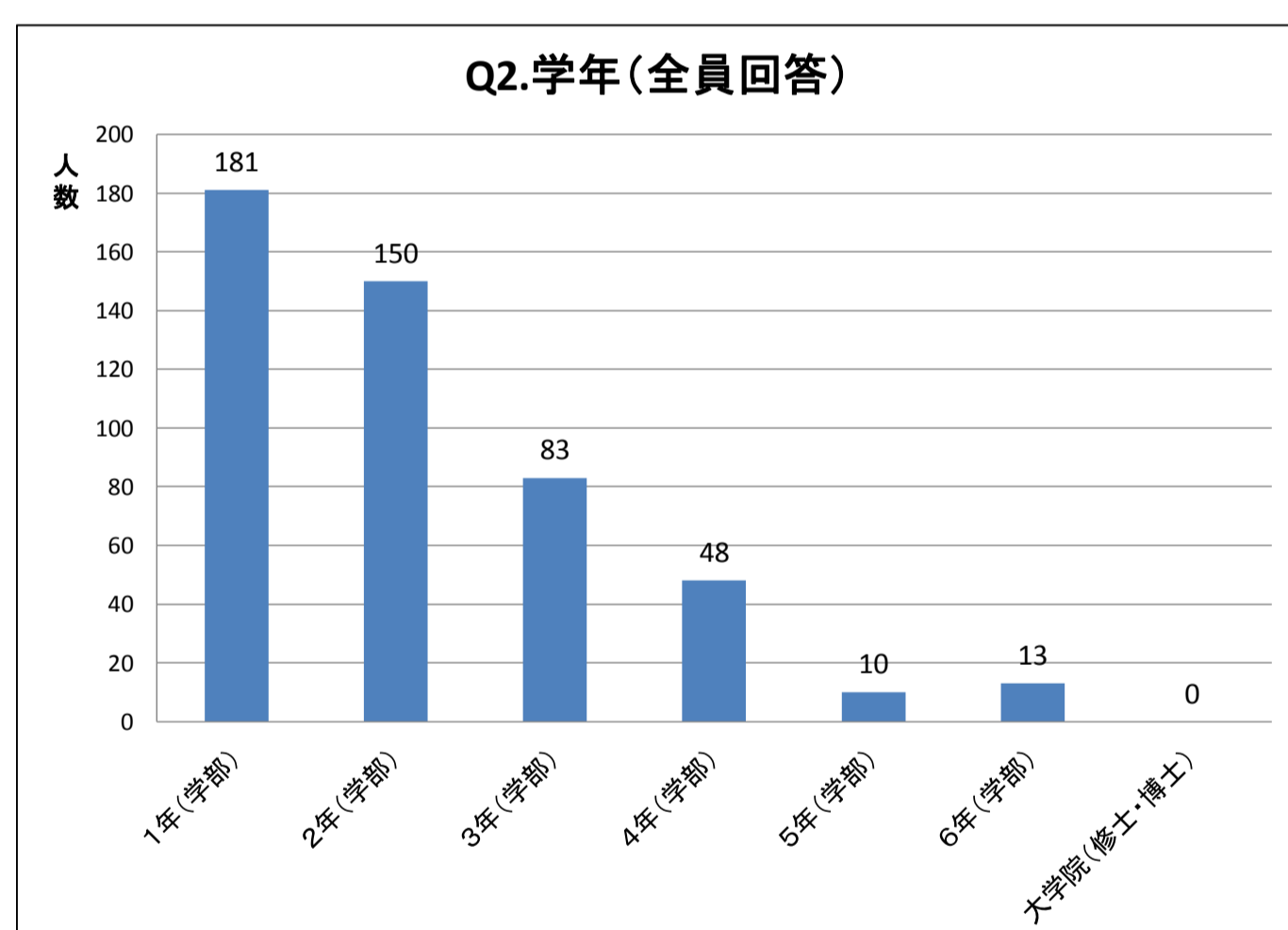
	全学生数	回答数	回答率	回答数に対する回答率
男	457	165	36.1%	34%
女	512	320	62.5%	66%
計	969	485	50.1%	100%



全学生969名を対象に調査を実施し、有効回答率は男性36.1%、女性62.5%、全体50.1%であった。ちなみに、全学生数969名の男女比は男性47.2%、女性52.8%である。回答数に対する回答率は、男性34%、女性66%であり、女性の回答率が男性よりも32%も上回っており、女性が積極的に回答した。

Q2. 学年(全員回答)

	全学生数	回答数	回答率
1年(学部)	249	181	72.7%
2年(学部)	253	150	59.3%
3年(学部)	173	83	48.0%
4年(学部)	168	48	28.6%
5年(学部)	40	10	25.0%
6年(学部)	70	13	18.6%
大学院(修士・博士)	16	0	0.0%
計	969	485	50.1%



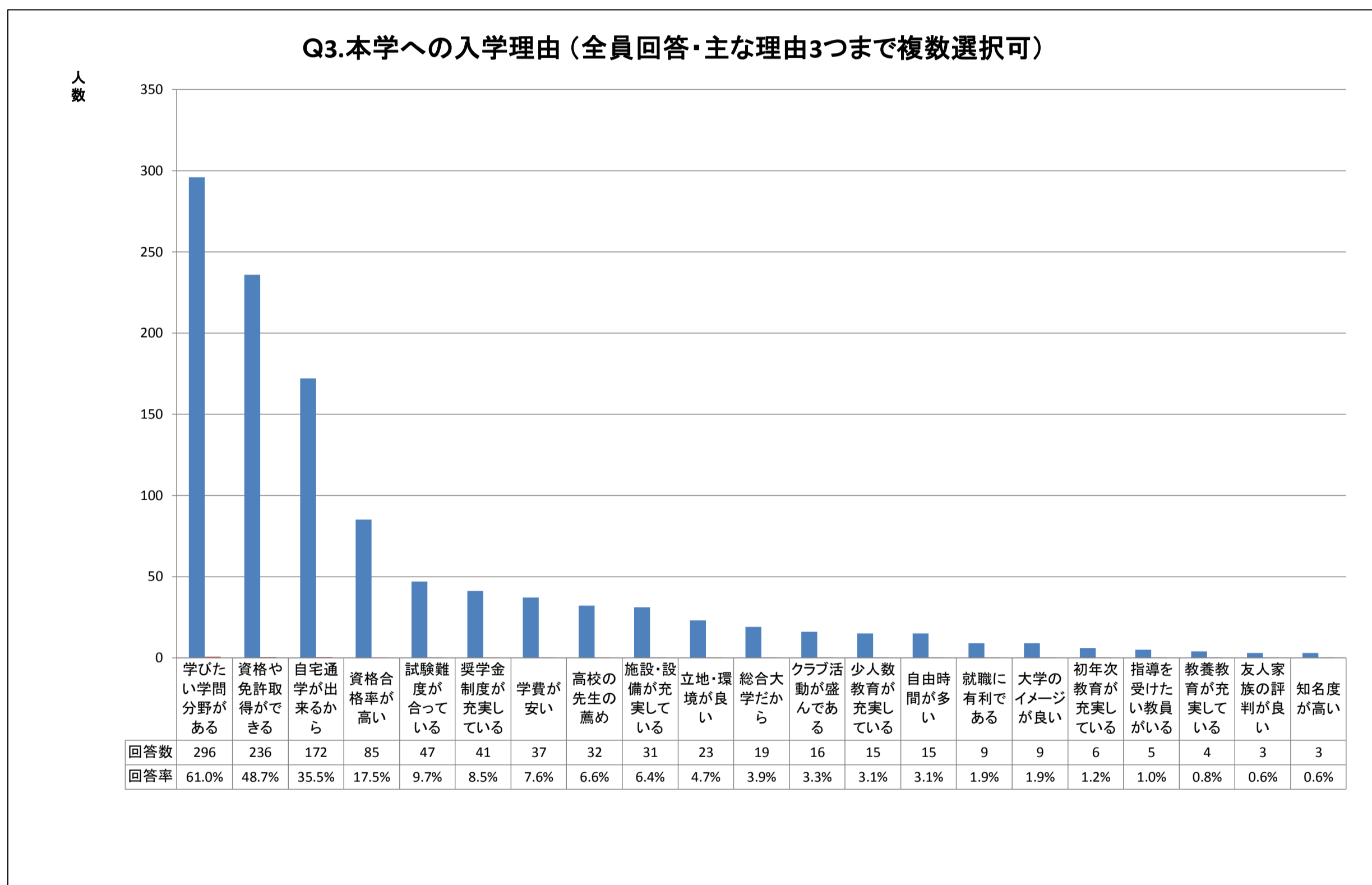
学年別の内訳では、タブレット端末を配付し、manab@IMUを授業等で積極的に利用していることもあり、1年生が最も回答率が高く、72.7%であった。それ以外の学年については学年が上がるにつれ、回答率は低下傾向であった。

(2)本学の選択理由、満足度、期待要望

Q3本学への入学理由

(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)	回答数	回答率
学びたい学問分野がある	296	61.0%
資格や免許取得ができる	236	48.7%
自宅通学が出来るから	172	35.5%
資格合格率が高い	85	17.5%
試験難度が合っている	47	9.7%
奨学金制度が充実している	41	8.5%
学費が安い	37	7.6%
高校の先生の薦め	32	6.6%
施設・設備が充実している	31	6.4%
立地・環境が良い	23	4.7%
総合大学だから	19	3.9%
クラブ活動が盛んである	16	3.3%
少人数教育が充実している	15	3.1%
自由時間が多い	15	3.1%
就職に有利である	9	1.9%
大学のイメージが良い	9	1.9%
初年次教育が充実している	6	1.2%
指導を受けたい教員がいる	5	1.0%
教養教育が充実している	4	0.8%
友人家族の評判が良い	3	0.6%
知名度が高い	3	0.6%
計	1104	485=100%

本学への入学理由のトップは「学びたい学問分野がある」61.0%であった。次いで「資格や免許取得ができる」48.7%であり、「自宅通学ができる」を理由として入学している学生も35.5%と4割ほどいる。

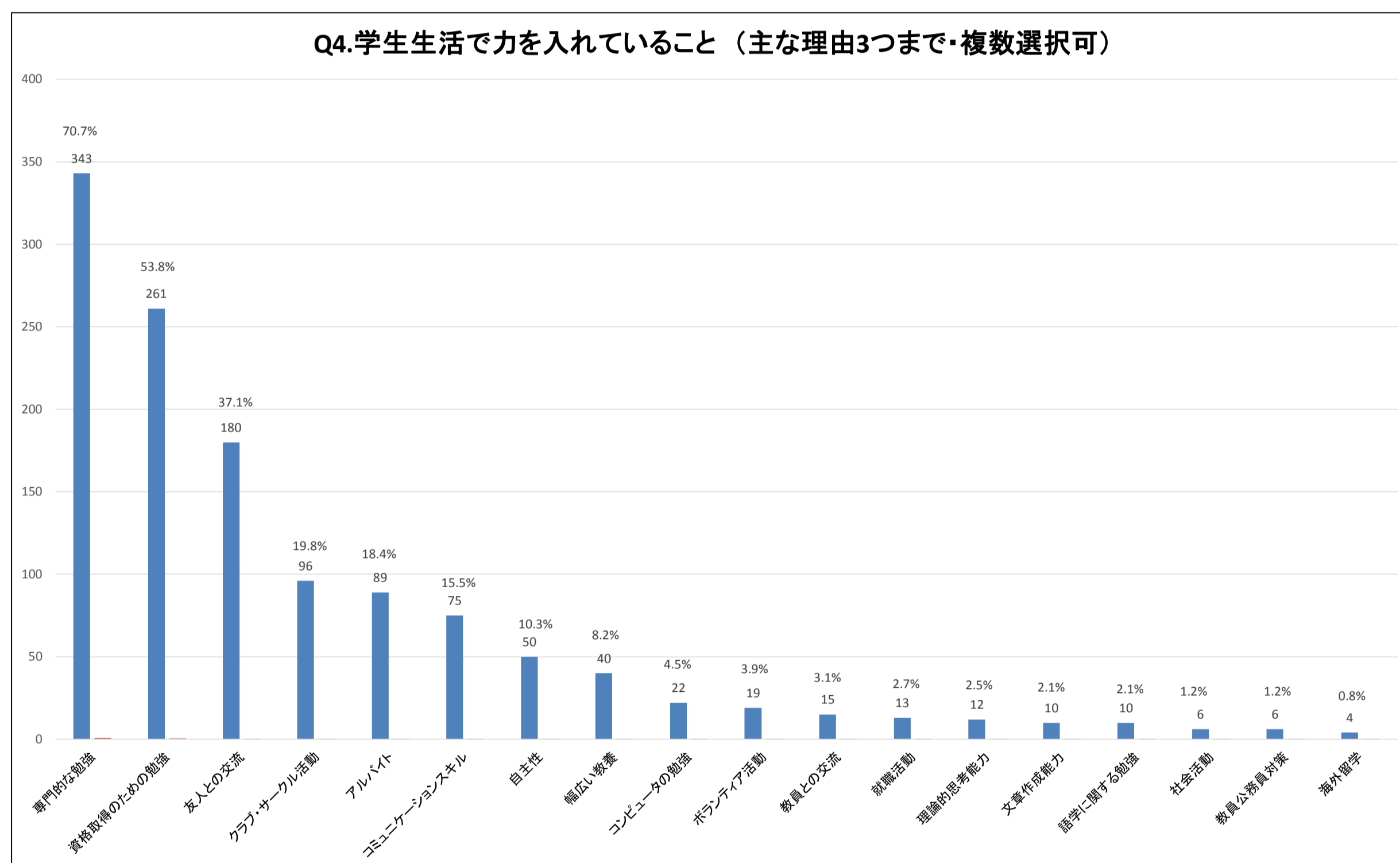


Q4学生生活で力を入れていること

(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)	回答数	回答率
専門的な勉強	343	70.7%
資格取得のための勉強	261	53.8%
友人との交流	180	37.1%
クラブ・サークル活動	96	19.8%
アルバイト	89	18.4%
コミュニケーションスキル	75	15.5%
自主性	50	10.3%
幅広い教養	40	8.2%
コンピュータの勉強	22	4.5%
ボランティア活動	19	3.9%
教員との交流	15	3.1%
就職活動	13	2.7%
理論的思考能力	12	2.5%
文章作成能力	10	2.1%
語学に関する勉強	10	2.1%
社会活動	6	1.2%
教員公務員対策	6	1.2%
海外留学	4	0.8%
計	1251	485=100%

回答した学生のうち、70.7%が「専門的な勉強」に力を入れていると回答している。「資格取得のための勉強」、「友人との交流」が次に多い回答で「社会活動」「海外留学」等、大学の外へ向けての活動は少ない。

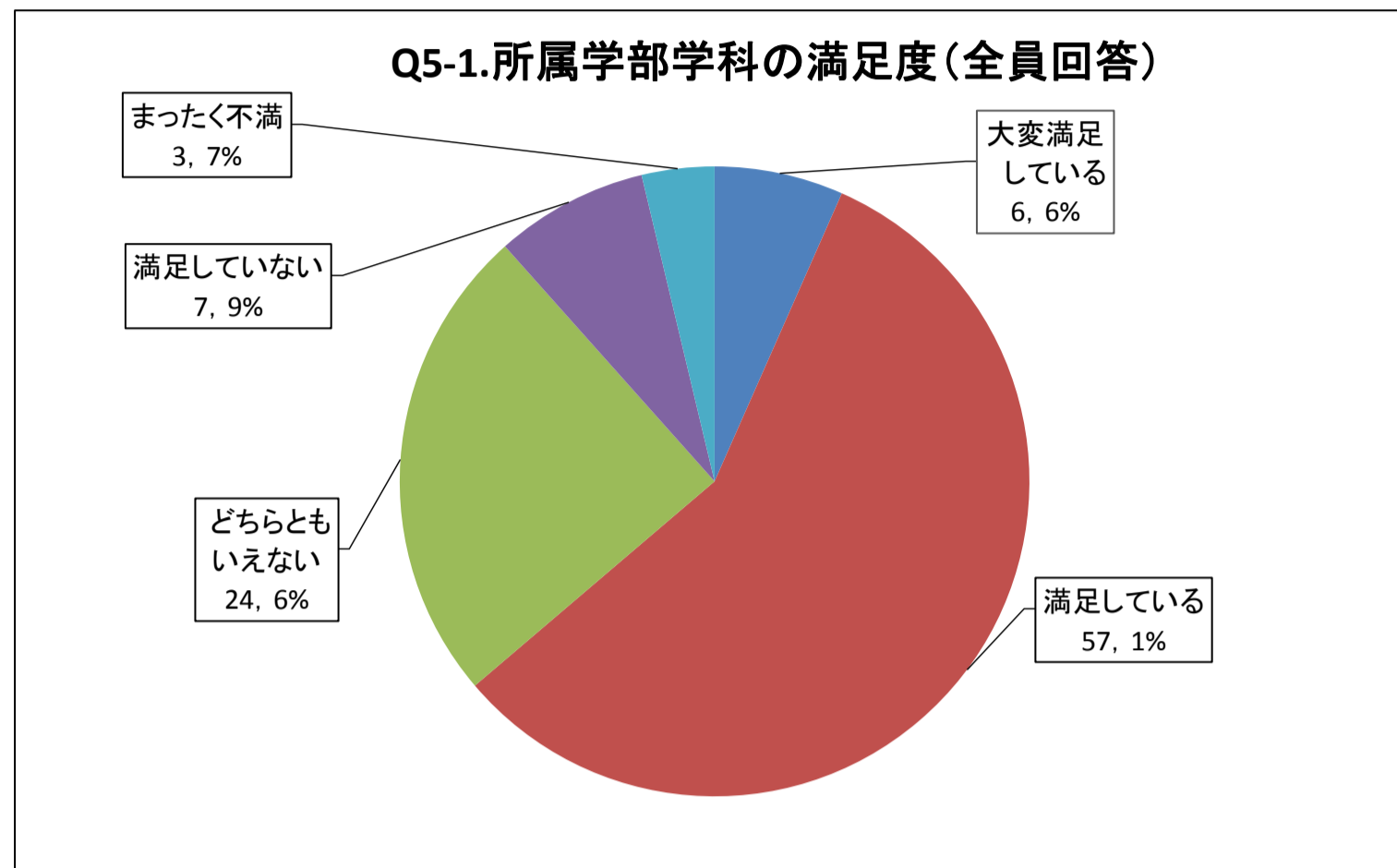
Q4.学生生活で力を入れていること（主な理由3つまで・複数選択可）



Q5-1. 所属学部学科の満足度(全員回答)

	回答数	回答率
大変満足している	32	6.6%
満足している	276	57.1%
どちらともいえない	119	24.6%
満足していない	38	7.9%
まったく不満	18	3.7%
計	483	483=100%

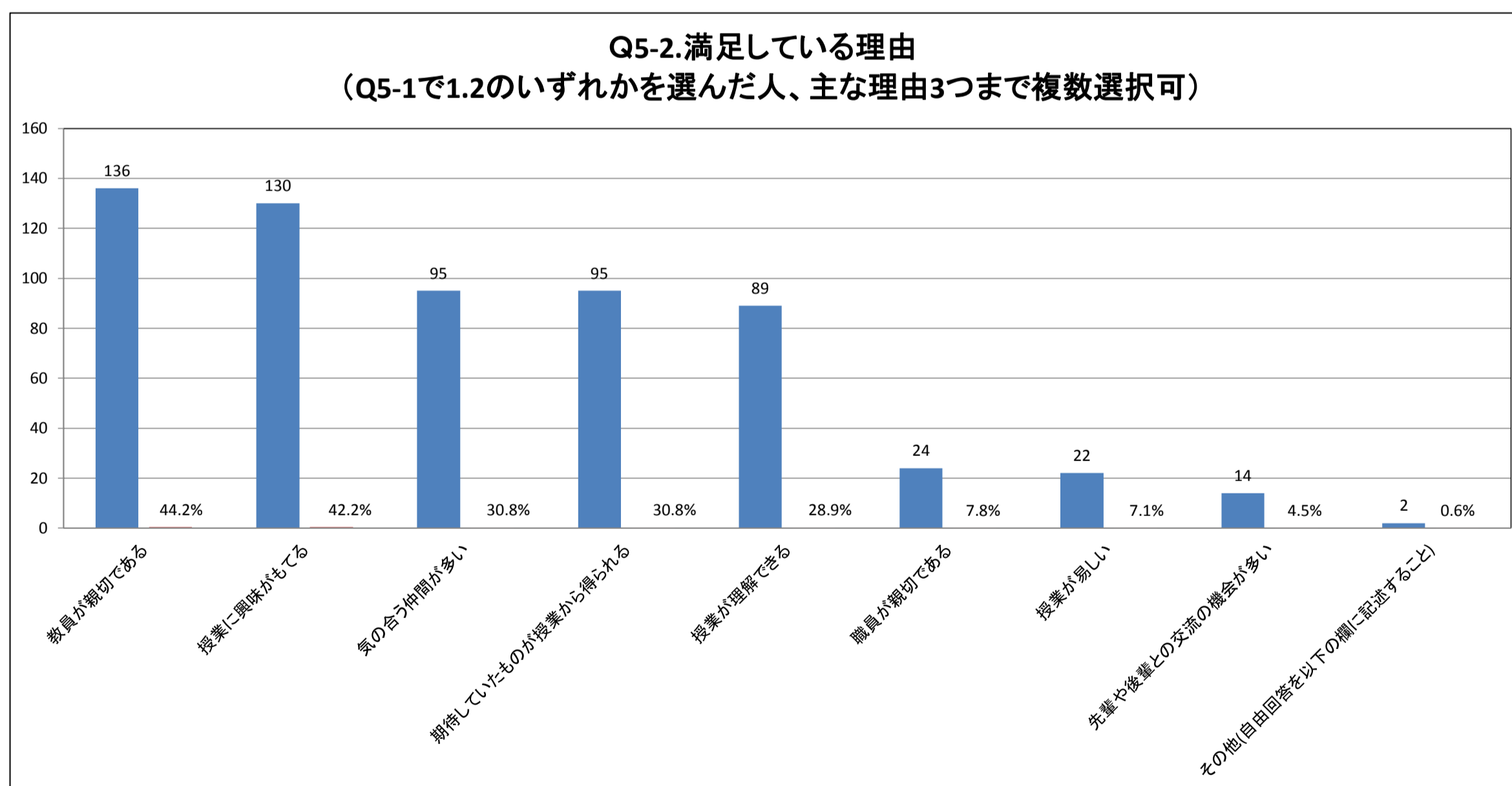
「大変満足してる」と「満足している」を加えると、約64%の学生が、自分の所属する学部学科に満足していると回答。一方、「満足していない」「まったく不満」と答えた学生は約12%だった。



Q5-2. 満足している理由(Q5-1で1.2のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
教員が親切である	136	44.2%
授業に興味がある	130	42.2%
気の合う仲間が多い	95	30.8%
期待していたものが授業から得られる	95	30.8%
授業が理解できる	89	28.9%
職員が親切である	24	7.8%
授業が易しい	22	7.1%
先輩や後輩との交流の機会が多い	14	4.5%
その他(自由回答を以下の欄に記述すること)	2	0.6%
計	607	308=100%

「教員が親切である」「授業に興味がある」「気の合う仲間が多い」「期待していたものが授業から得られる」が上位で、「授業」についての評価は概ね高かった。



Q5-2. 満足している理由(その他:自由回答)

- ・実習でしか味わえないものや医療大学になりつつあるいわき明星大学で、病院内のようなチーム医療についてもっと理解を深めることができると思うから(看護)
- ・サークル活動が楽しい(教養)
- ・尊敬する教員がいる(教養)

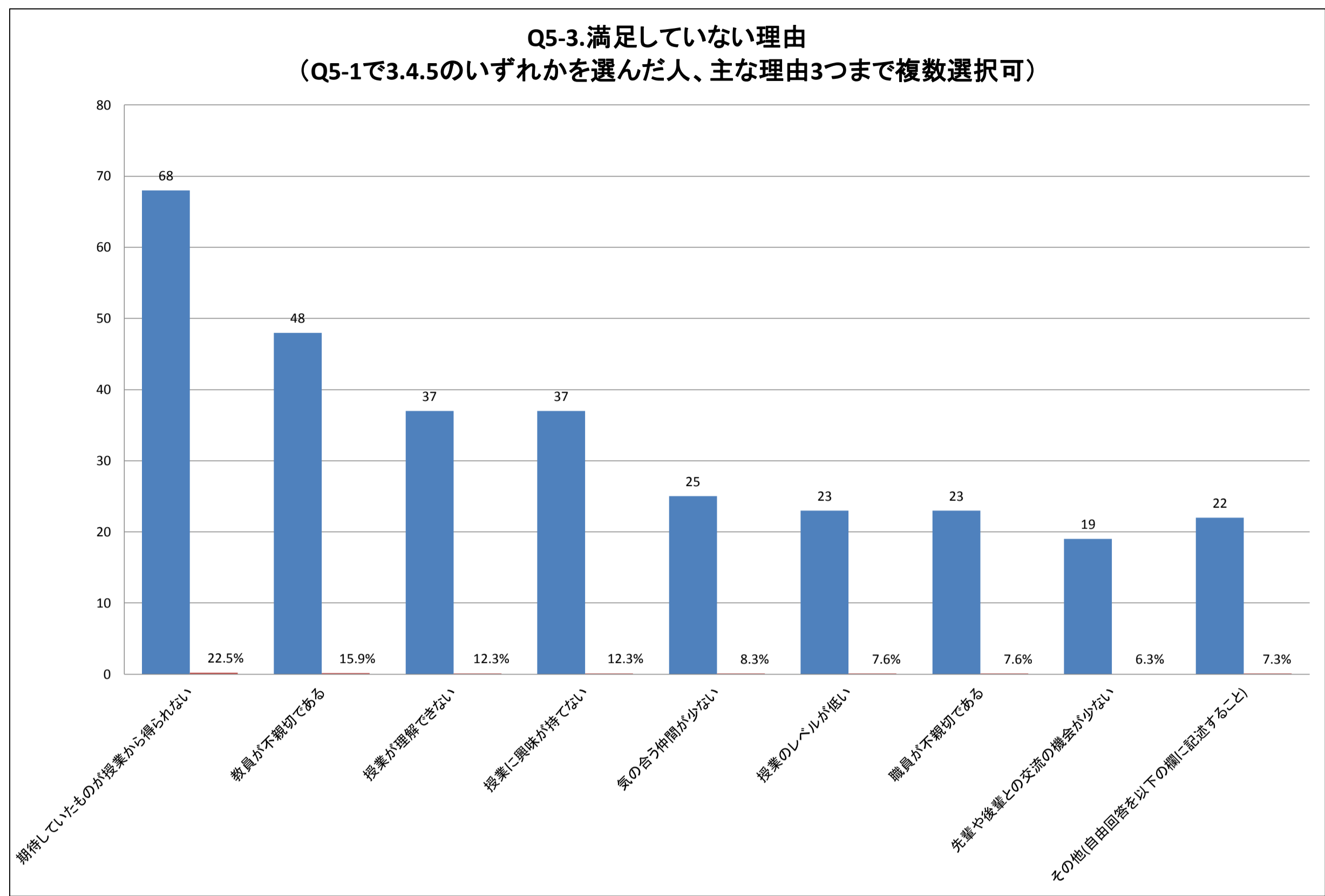
Q5-3. 満足していない理由(Q5-1で3.4.5のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
期待していたものが授業から得られない	68	22.5%
教員が不親切である	48	15.9%
授業が理解できない	37	12.3%
授業に興味を持ってない	37	12.3%
気の合う仲間が少ない	25	8.3%
授業のレベルが低い	23	7.6%
職員が不親切である	23	7.6%
先輩や後輩との交流の機会が少ない	19	6.3%
その他(自由回答を以下の欄に記述すること)	22	7.3%
	302	302=100%

「期待していたものが授業から得られない」、「教員が不親切である」、「授業が理解できない」、「授業に興味を持ってない」との回答が併せて63%であった。「気の合う仲間が少ない」との回答が約8%あったことが気になる。

Q5-3. 満足していない理由(その他:自由回答)

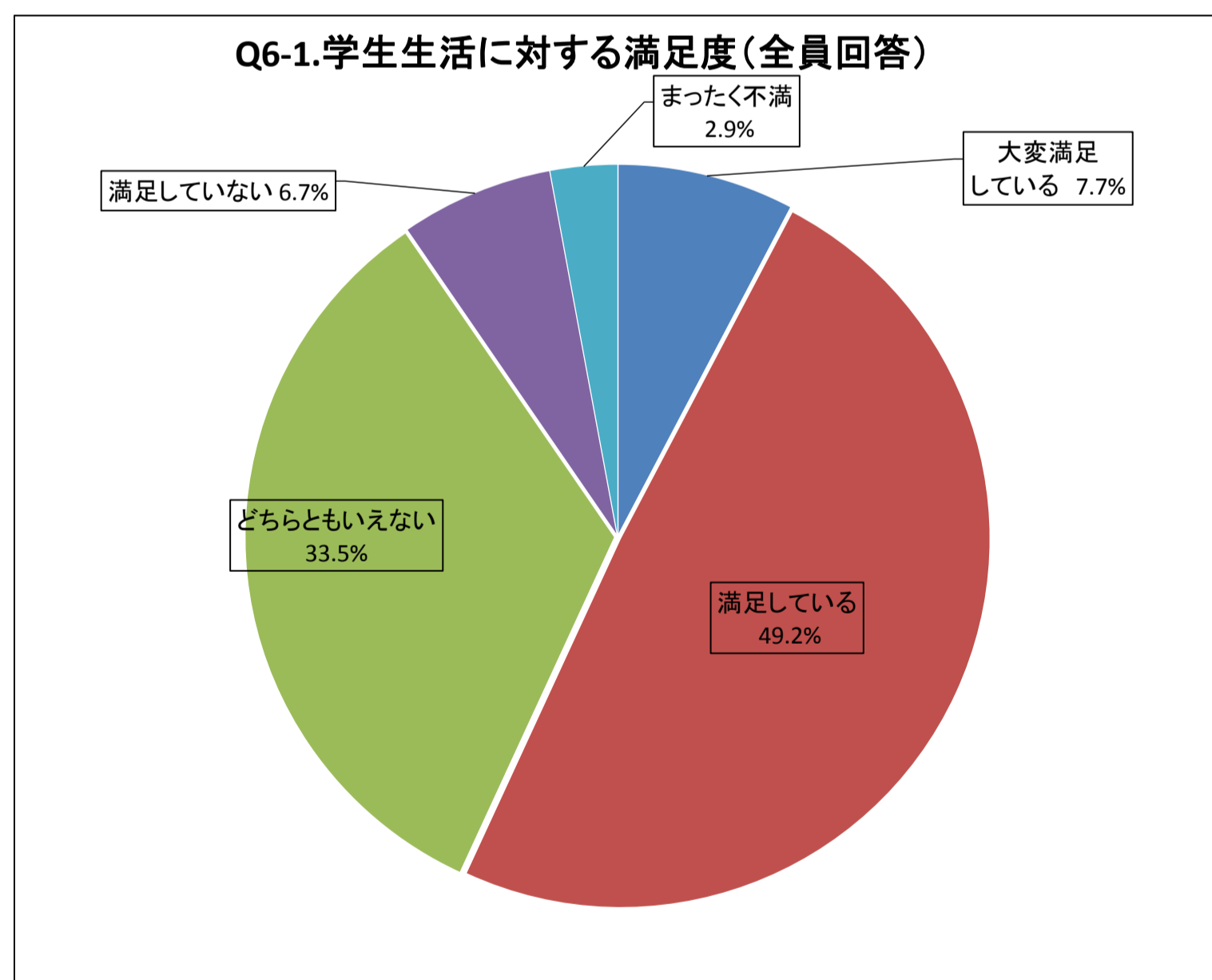
- ・解剖見学実習がない(看護) 他、学内版のみ全文記載



Q6-1. 学生生活に対する満足度(全員回答)

	回答数	回答率
大変満足している	37	7.7%
満足している	236	49.2%
どちらともいえない	161	33.5%
満足していない	32	6.7%
まったく不満	14	2.9%
計	480	480=100%

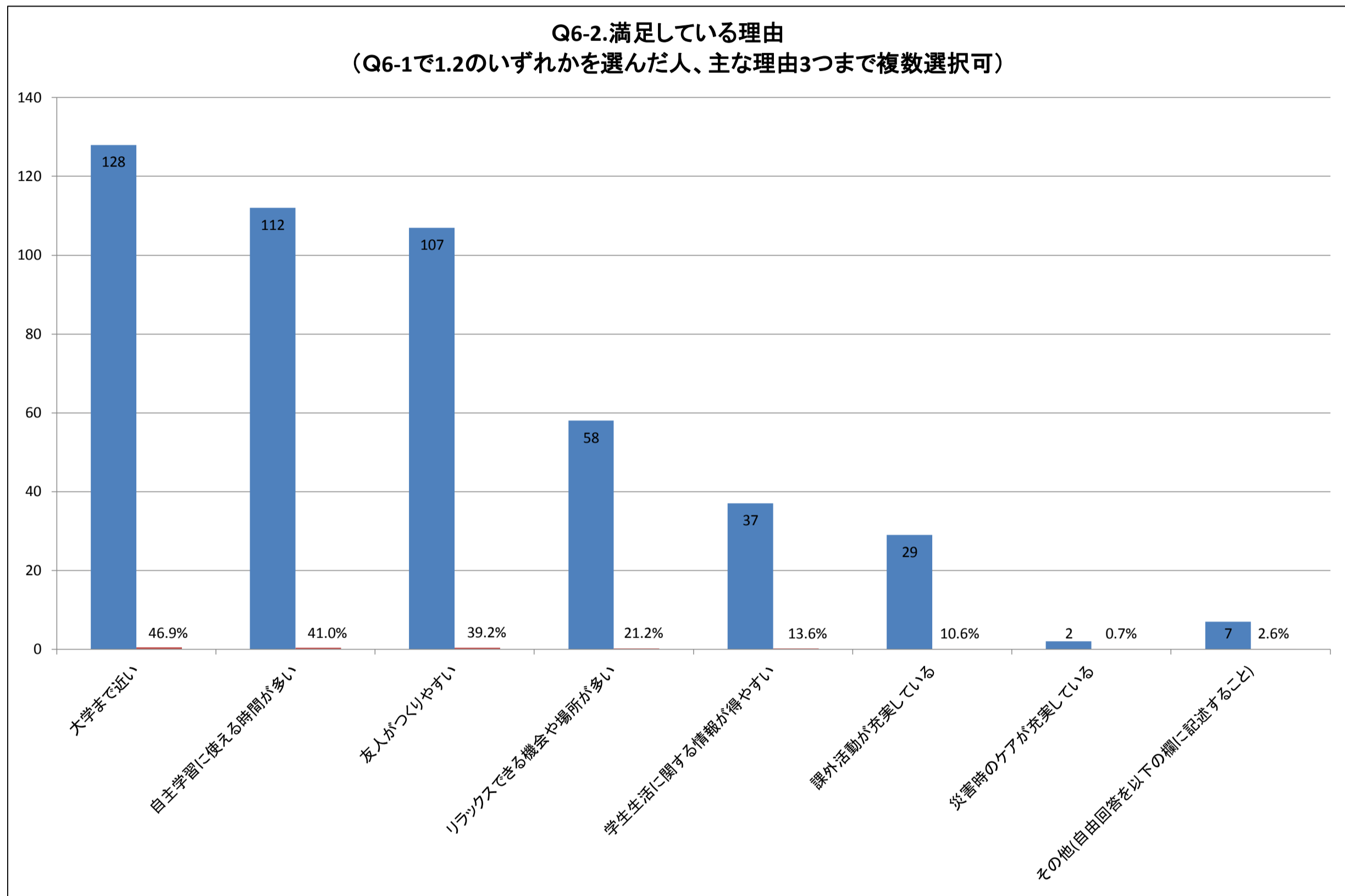
「大変満足している」と「満足している」が合わせて56.9%であり、6割の学生が学生生活に満足している。一方、「満足していない」「まったく不満」は合わせて約10%と約1割であった。



Q6-2. 満足している理由(Q6-1で1.2のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
大学まで近い	128	46.9%
自主学習に使える時間が多い	112	41.0%
友人がつくりやすい	107	39.2%
リラックスできる機会や場所が多い	58	21.2%
学生生活に関する情報が得やすい	37	13.6%
課外活動が充実している	29	10.6%
災害時のケアが充実している	2	0.7%
その他(自由回答を以下の欄に記述すること)	7	2.6%
計	480	273=100%

「大学まで近い」「自主学習に使える時間が多い」、「友人がつくりやすい」が上位であった。一方、「課外活動が充実している」との回答が10.6%と少なく、本学学友会活動停滞を印象づける結果となった。



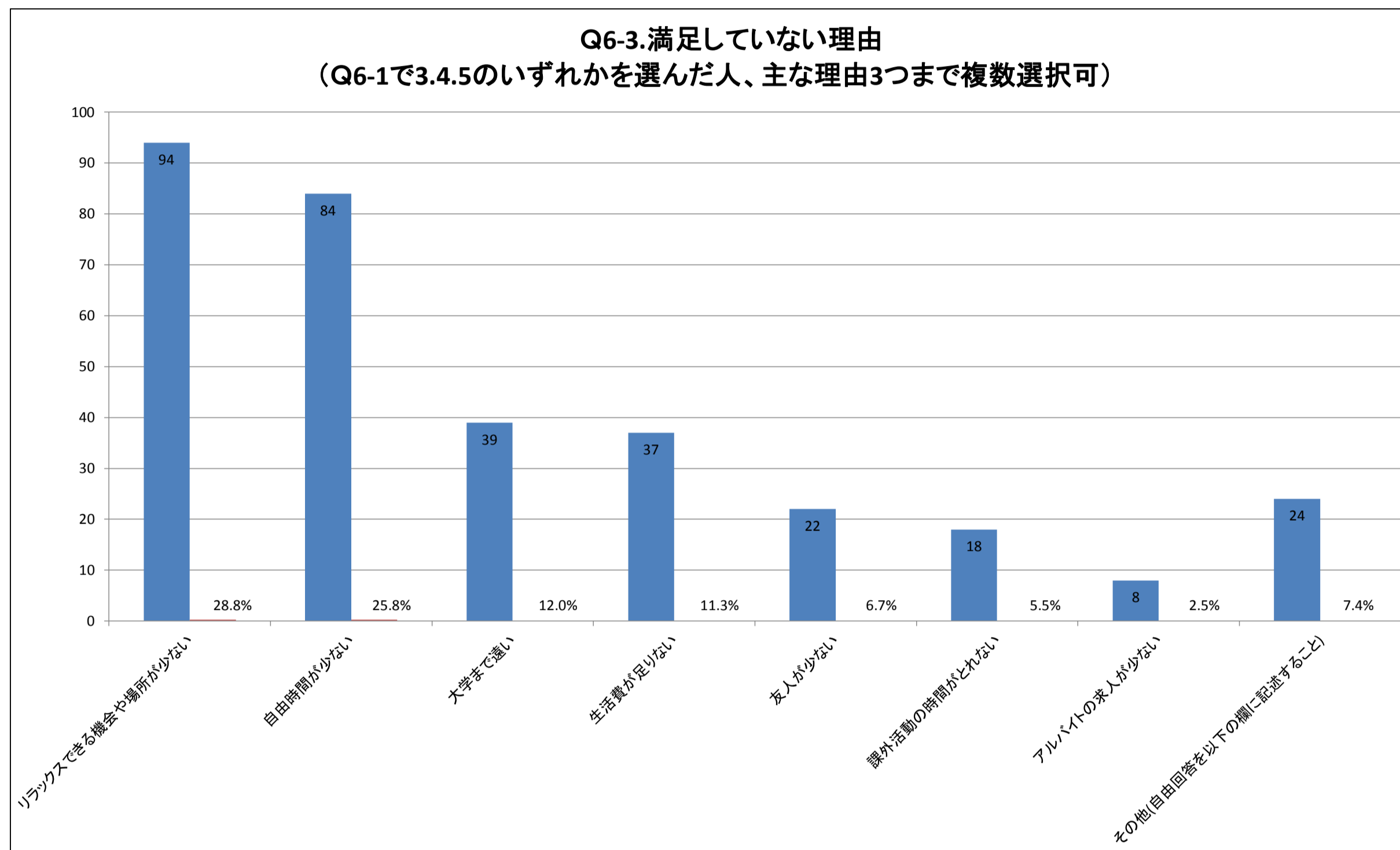
Q6-2. 満足している理由(その他:自由回答)

・自由(科学技術) 他、学内版のみ全文記載

Q6-3. 満足していない理由(Q6-1で3.4.5のいずれかを選んだ人、主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
リラックスできる機会や場所が少ない	94	28.8%
自由時間が少ない	84	25.8%
大学まで遠い	39	12.0%
生活費が足りない	37	11.3%
友人が少ない	22	6.7%
課外活動の時間がとれない	18	5.5%
アルバイトの求人が少ない	8	2.5%
その他(自由回答を以下の欄に記述すること)	24	7.4%
計	302	327=100%

「リラックスできる機会や場所が少ない」「自由時間が少ない」がともに20%を越えている。「課外活動の時間がとれない」と回答した学生は約6%で少数であったが、学友会活動への参加率が低いのはいかなものか。



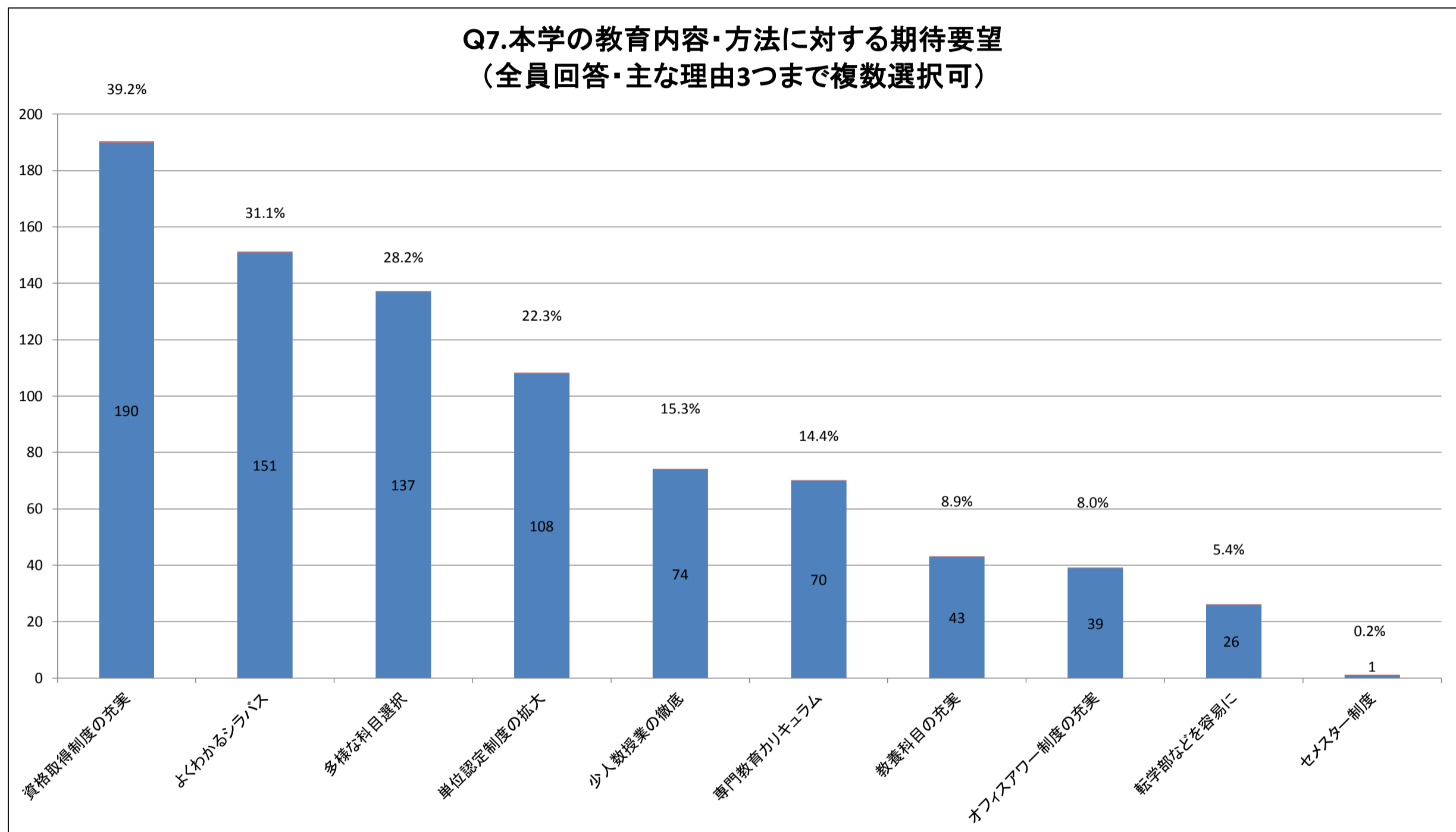
Q6-3. 満足していない理由(その他:自由回答)

・施設の整備、環境等があまり良くない。勉強部屋があまりない(看護) 他、学内版のみ全文記載

Q7. 本学の教育内容・方法に対する期待要望(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
資格取得制度の充実	190	39.2%
よくわかるシラバス	151	31.1%
多様な科目選択	137	28.2%
単位認定制度の拡大	108	22.3%
少人数授業の徹底	74	15.3%
専門教育カリキュラム	70	14.4%
教養科目の充実	43	8.9%
オフィスアワー制度の充実	39	8.0%
転学部などを容易に	26	5.4%
セメスター制度	1	0.2%
計	839	485=100%

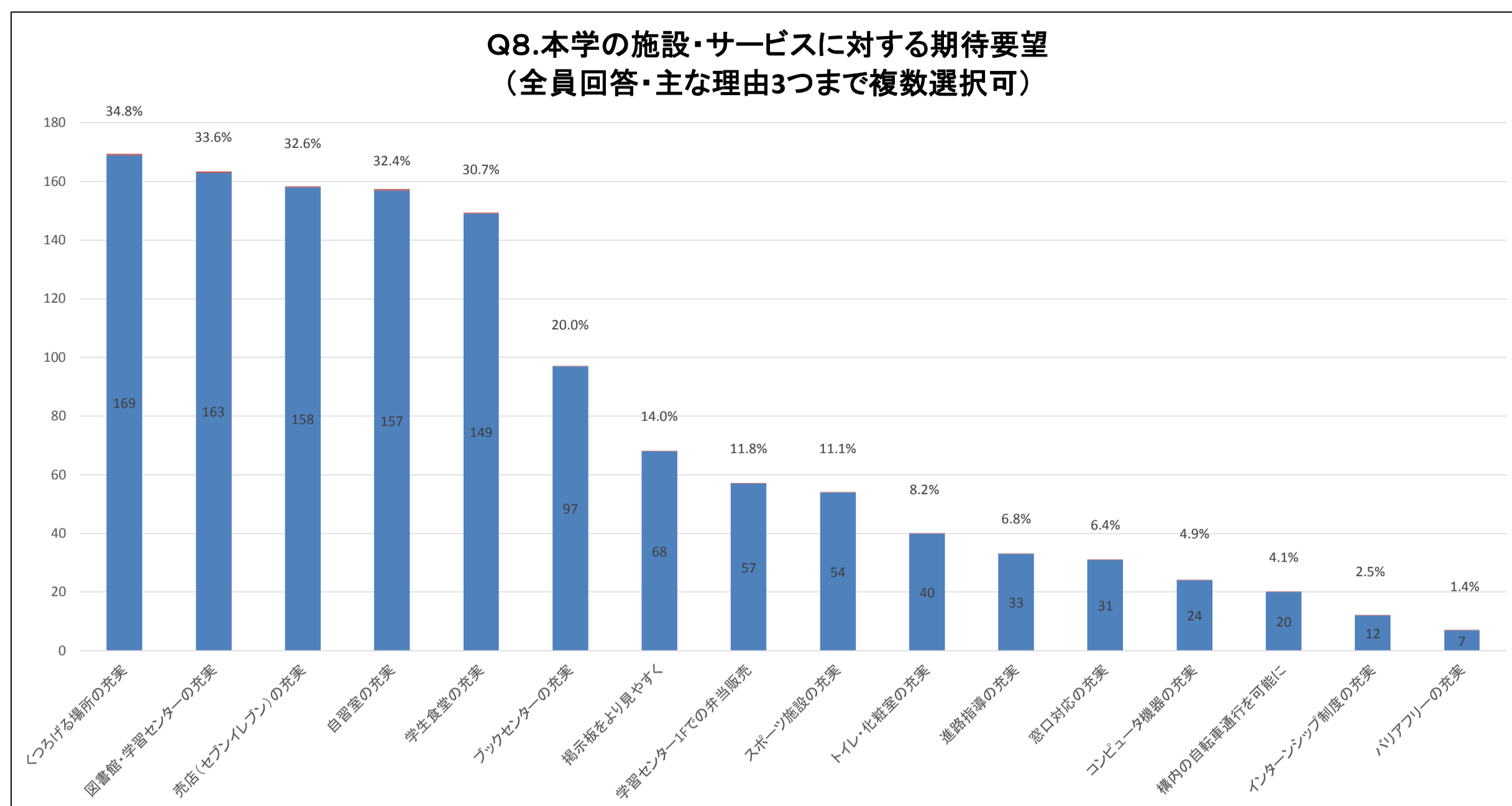
「資格取得制度の充実」を39%の学生が期待している。「よくわかるシラバス」と「多様な科目選択」を要望する学生も合わせて約60%いた。



Q8. 本学の施設・サービスに対する期待要望(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
くつろげる場所の充実	169	34.8%
図書館・学習センターの充実	163	33.6%
売店(セブンイレブン)の充実	158	32.6%
自習室の充実	157	32.4%
学生食堂の充実	149	30.7%
ブックセンターの充実	97	20.0%
掲示板をより見やすく	68	14.0%
学習センター1Fでの弁当販売	57	11.8%
スポーツ施設の充実	54	11.1%
トイレ・化粧室の充実	40	8.2%
進路指導の充実	33	6.8%
窓口対応の充実	31	6.4%
コンピュータ機器の充実	24	4.9%
構内の自転車通行を可能に	20	4.1%
インターンシップ制度の充実	12	2.5%
バリアフリーの充実	7	1.4%
計	1239	485=100%

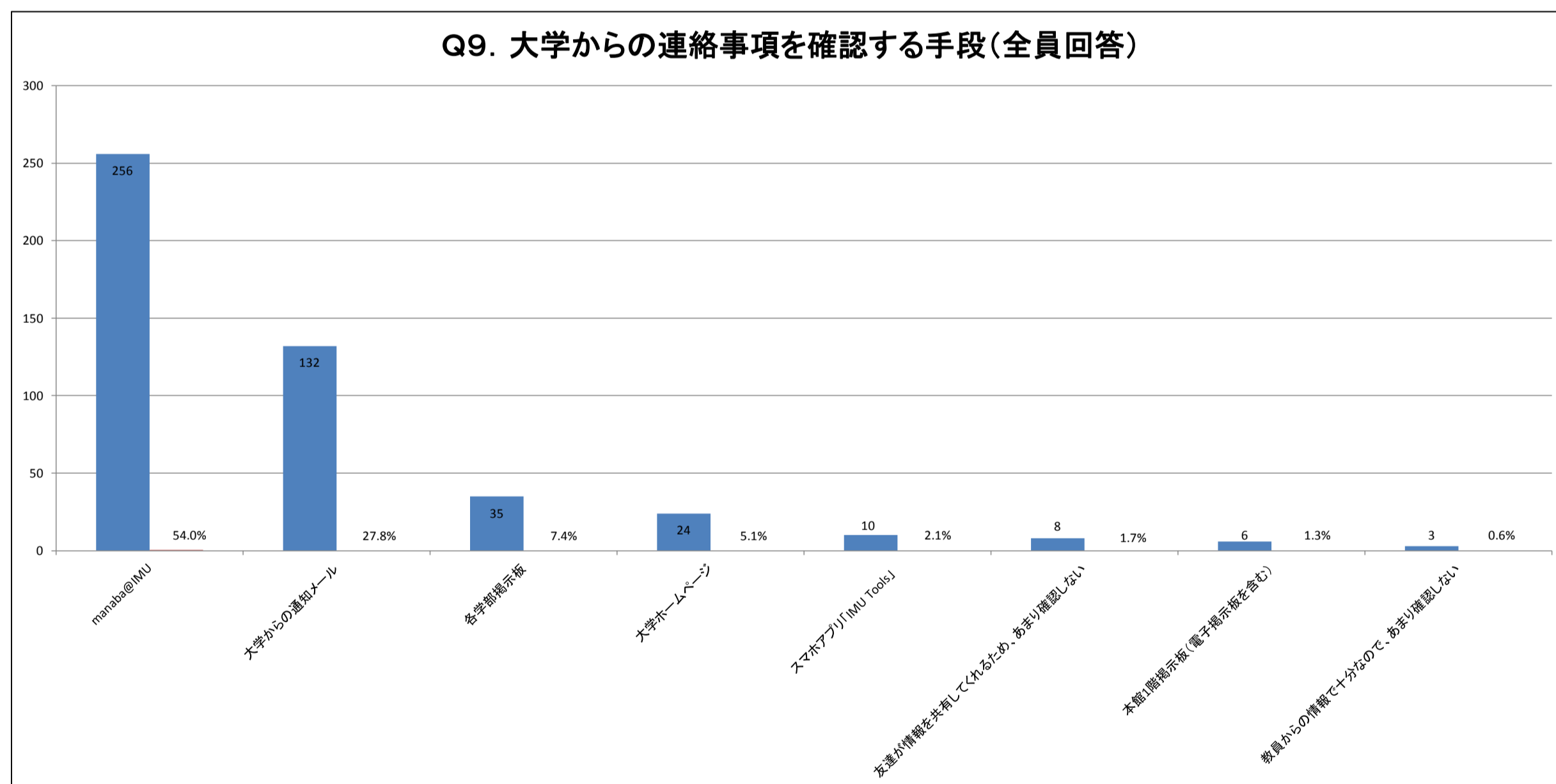
「くつろげる場所の充実」、「図書館・学習センターの充実」、「売店(セブンイレブン)の充実」を希望している学生が多かった。一方で「インターンシップ制度の充実」、「バリアフリーの充実」は低かった。



Q9. 大学からの連絡事項を確認する手段(全員回答)

	回答数	回答率
manaba@IMU	256	54.0%
大学からの通知メール	132	27.8%
各学部掲示板	35	7.4%
大学ホームページ	24	5.1%
スマホアプリ「IMU Tools」	10	2.1%
友達が情報を共有してくれるため、あまり確認しない	8	1.7%
本館1階掲示板(電子掲示板を含む)	6	1.3%
教員からの情報で十分なので、あまり確認しない	3	0.6%
計	474	474=100%

「manaba@IMU」、「大学からの通知メール」を確認手段にしている学生が合わせて81.8%。「各学部掲示板」は7.4%、本館1階掲示板(電子掲示板を含む)も1.3%と低く、掲示板を確認する学生は低いことが判明した。

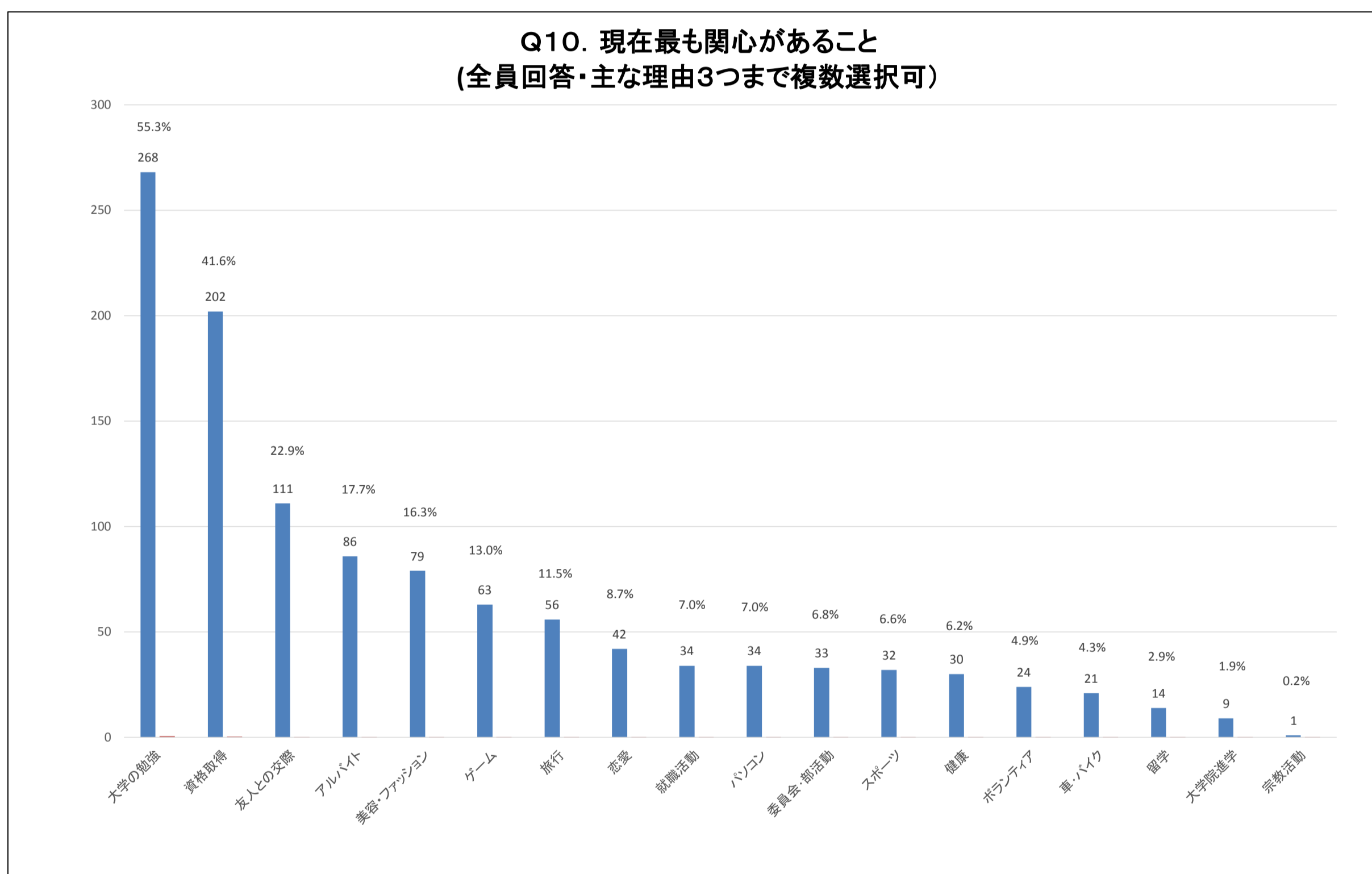


(3)興味関心

Q10. 現在最も関心があること(全員回答・主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
大学の勉強	268	55.3%
資格取得	202	41.6%
友人との交際	111	22.9%
アルバイト	86	17.7%
美容・ファッション	79	16.3%
ゲーム	63	13.0%
旅行	56	11.5%
恋愛	42	8.7%
就職活動	34	7.0%
パソコン	34	7.0%
委員会・部活動	33	6.8%
スポーツ	32	6.6%
健康	30	6.2%
ボランティア	24	4.9%
車・バイク	21	4.3%
留学	14	2.9%
大学院進学	9	1.9%
宗教活動	1	0.2%
計	1139	485=100%

最も興味関心があることは「大学の勉強」が55.3%で、次いで「資格取得」が41.6%、「友人との交際」が22.9%と続いた。

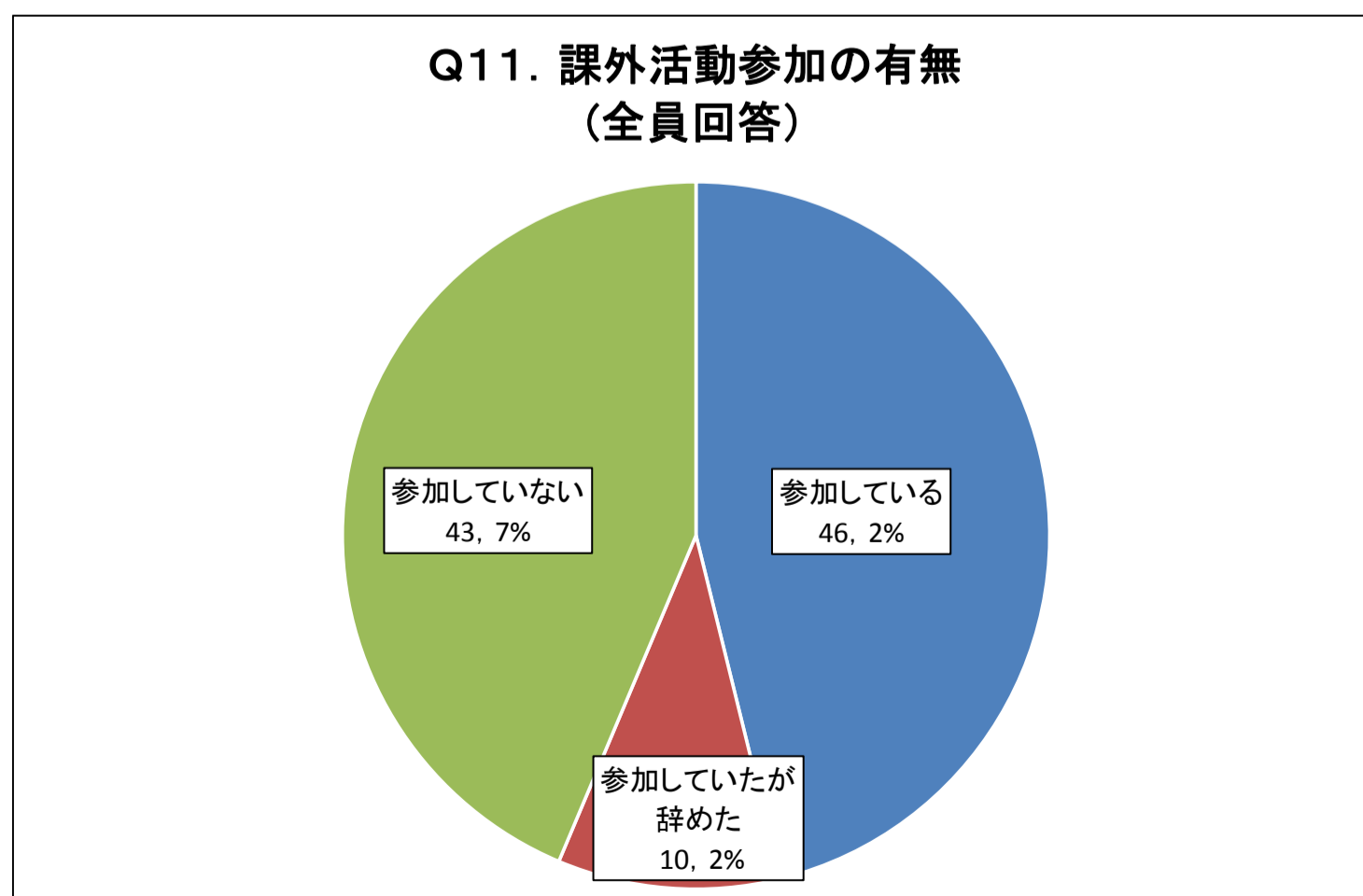


(4)課外活動

Q11. 課外活動参加の有無(全員回答)

※学友会・部活動・サークル活動の参加の有無	回答数	回答率
参加している	222	46.2%
参加していたが辞めた	49	10.2%
参加していない	210	43.7%
計	481	481=100%

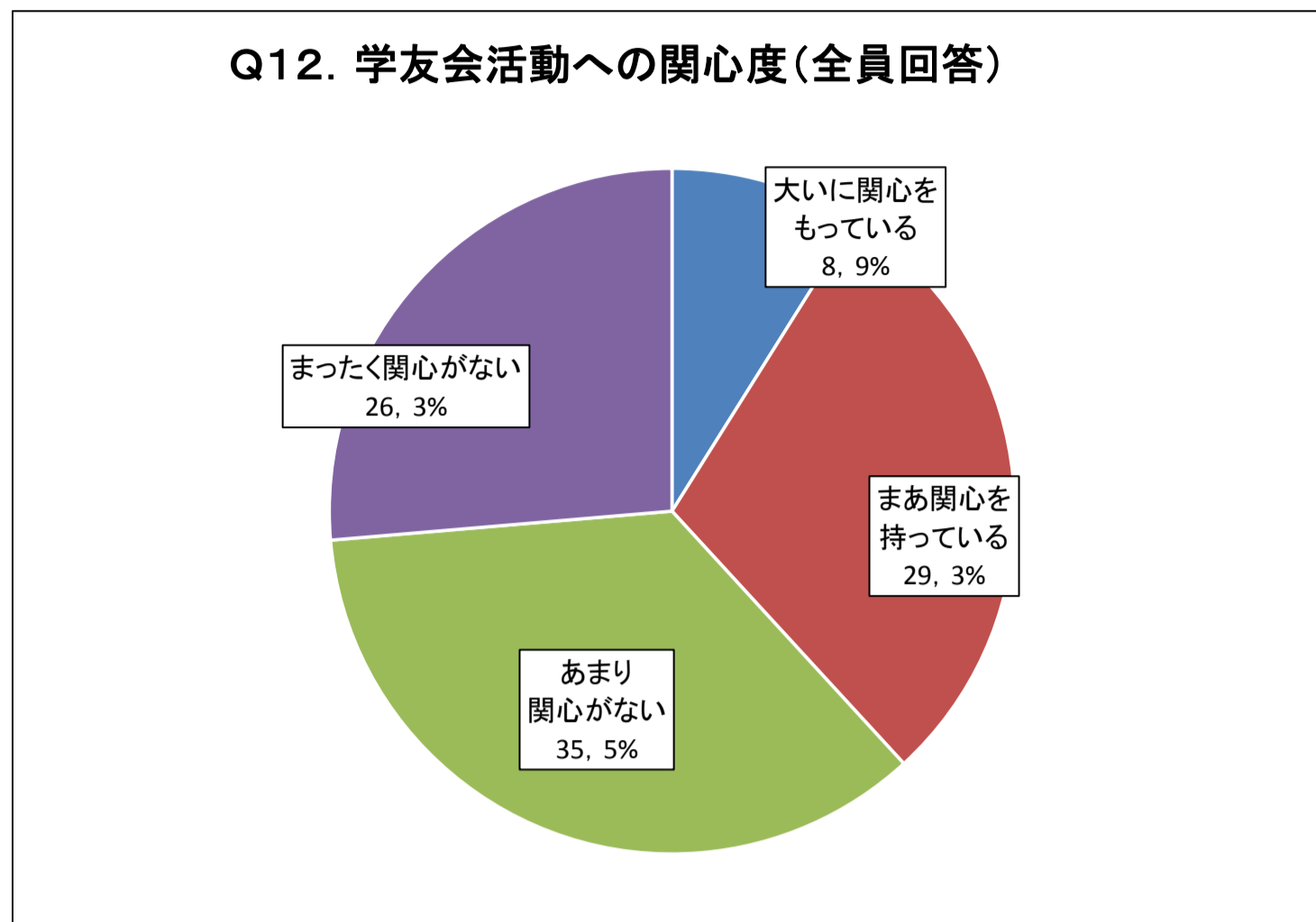
課外活動に参加している学生は46.2%であった。また「参加していない」学生は43.7%であった。



Q12. 学友会活動への関心度(全員回答)

	回答数	回答率
大いに興味をもっている	43	8.9%
まあ興味を持っている	141	29.3%
あまり関心がない	171	35.5%
まったく関心がない	127	26.3%
計	482	482=100%

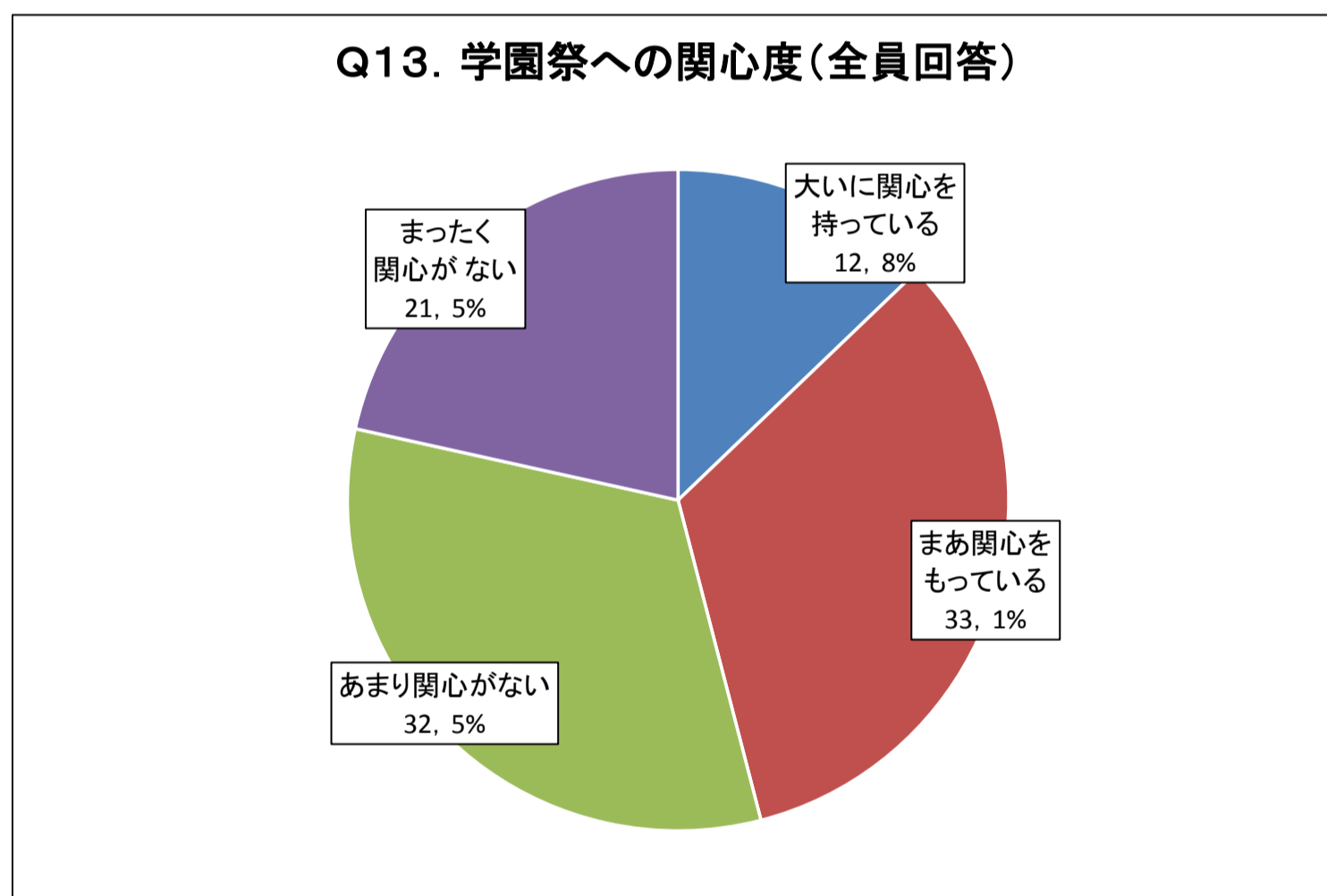
学友会活動に「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた学生が合わせて61.8%おり、約6割の学生は関心を持っていない。



Q13. 学園祭への関心度(全員回答)

	回答数	回答率
大いに興味をもっている	62	12.8%
まあ興味をもっている	160	33.1%
あまり関心がない	157	32.5%
まったく関心がない	104	21.5%
計	483	483=100%

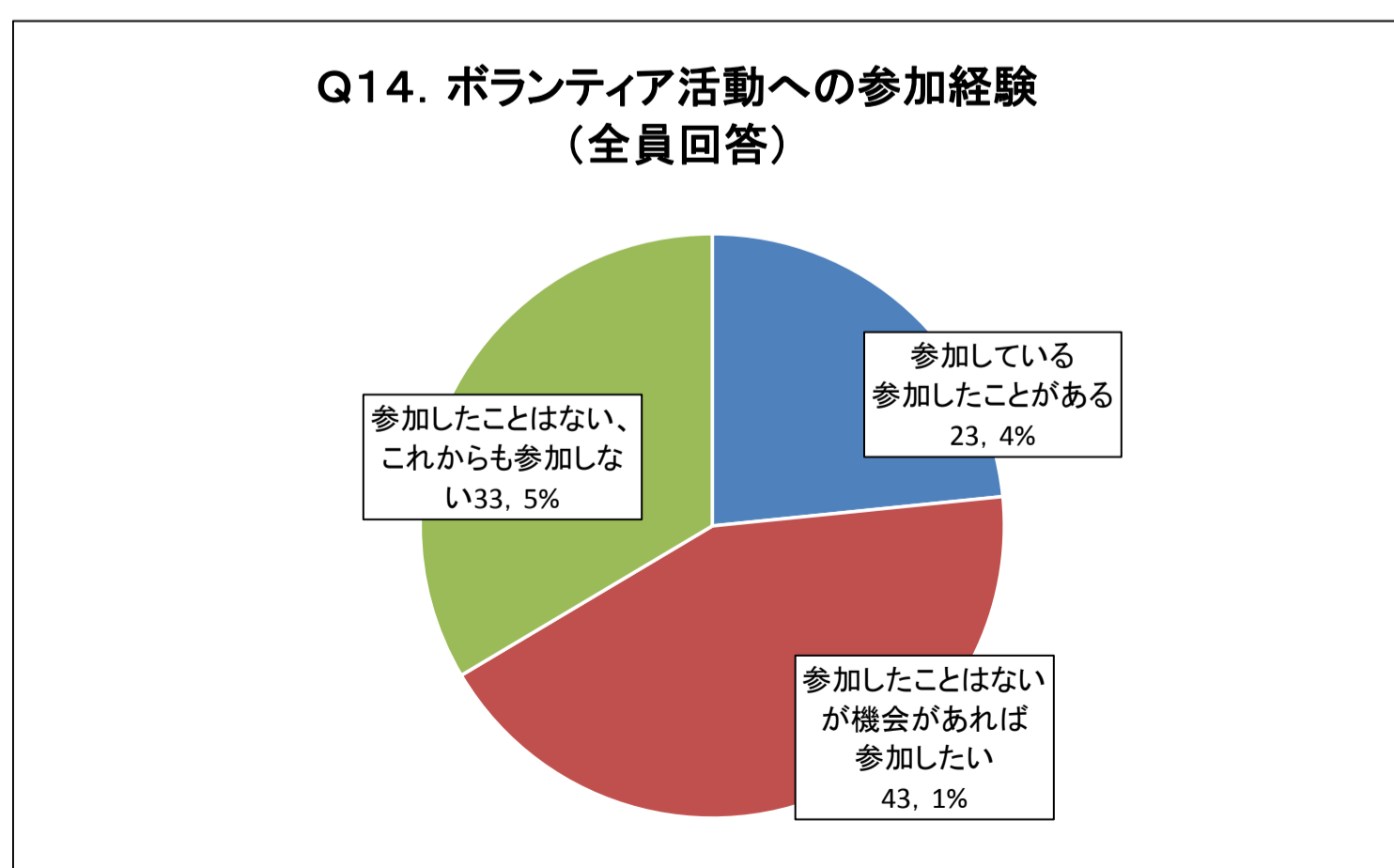
学園祭に「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と答えた学生が合わせて54%おり、「大いに興味がある」、「まあ興味をもっている」学生を上回っていた。



Q14. ボランティア活動への参加経験(全員回答)

	回答数	回答率
参加している・参加したことがある(Q15へ)	113	23.4%
参加したことはないが機会があれば参加したい	208	43.1%
参加したことはない、これからも参加しない	162	33.5%
計	483	483=100%

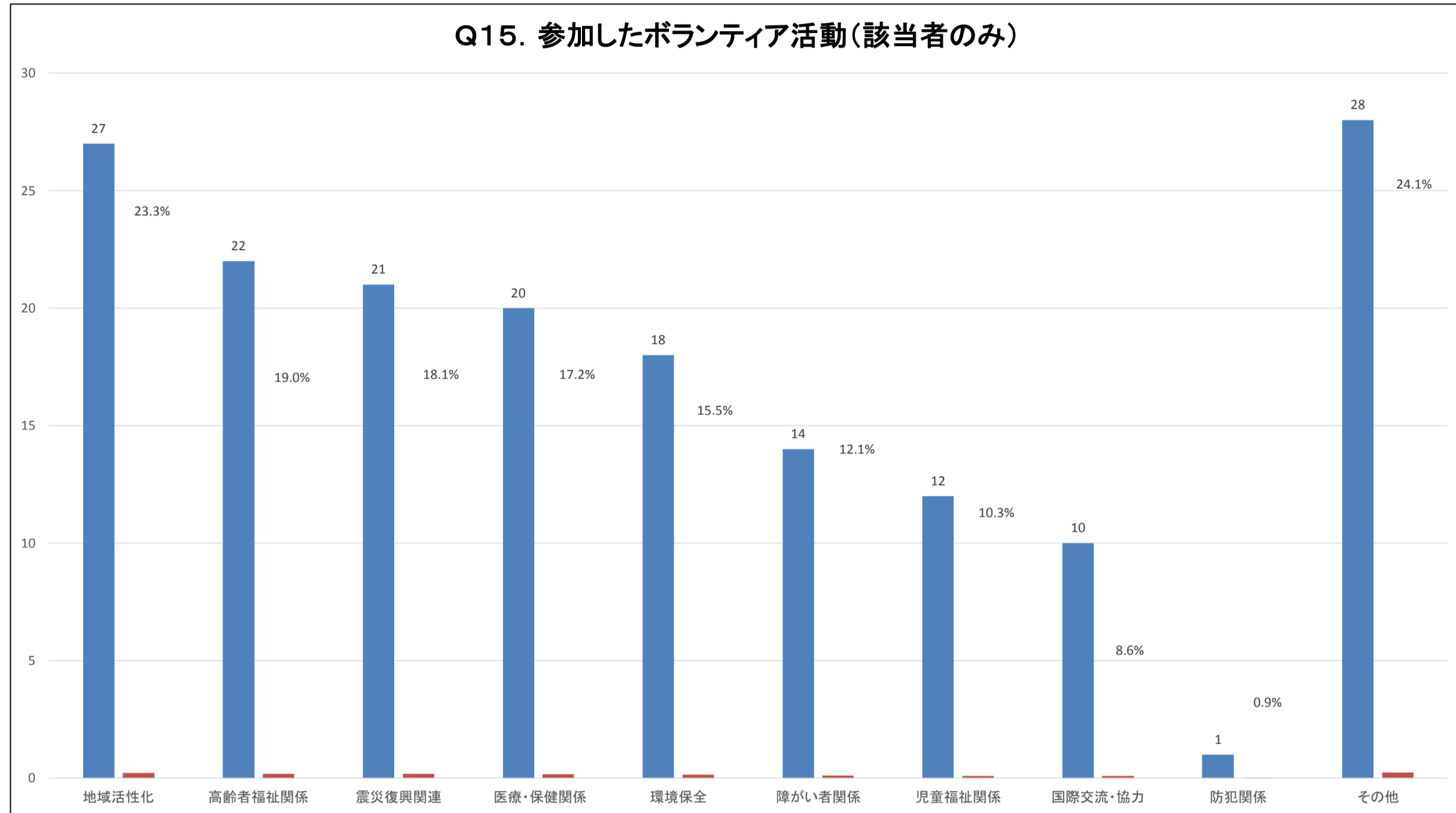
ボランティア活動への参加経験がある学生は、23.4%であったが、43.1%の学生が機会があれば参加したいと答えている。一方で、「参加したことはない、これからも参加しない」と答えた学生は33.5%であった。



Q15. 参加したボランティア活動(該当者のみ)

	回答数	回答率
地域活性化	27	23.3%
高齢者福祉関係	22	19.0%
震災復興関連	21	18.1%
医療・保健関係	20	17.2%
環境保全	18	15.5%
障がい者関係	14	12.1%
児童福祉関係	12	10.3%
国際交流・協力	10	8.6%
防犯関係	1	0.9%
その他	28	24.1%
計	173	116=100%

参加したボランティア活動を種類別にみると、「地域活性化」が23.3%、「高齢者福祉関係」、「震災復興関連」などの活動が挙げられている。

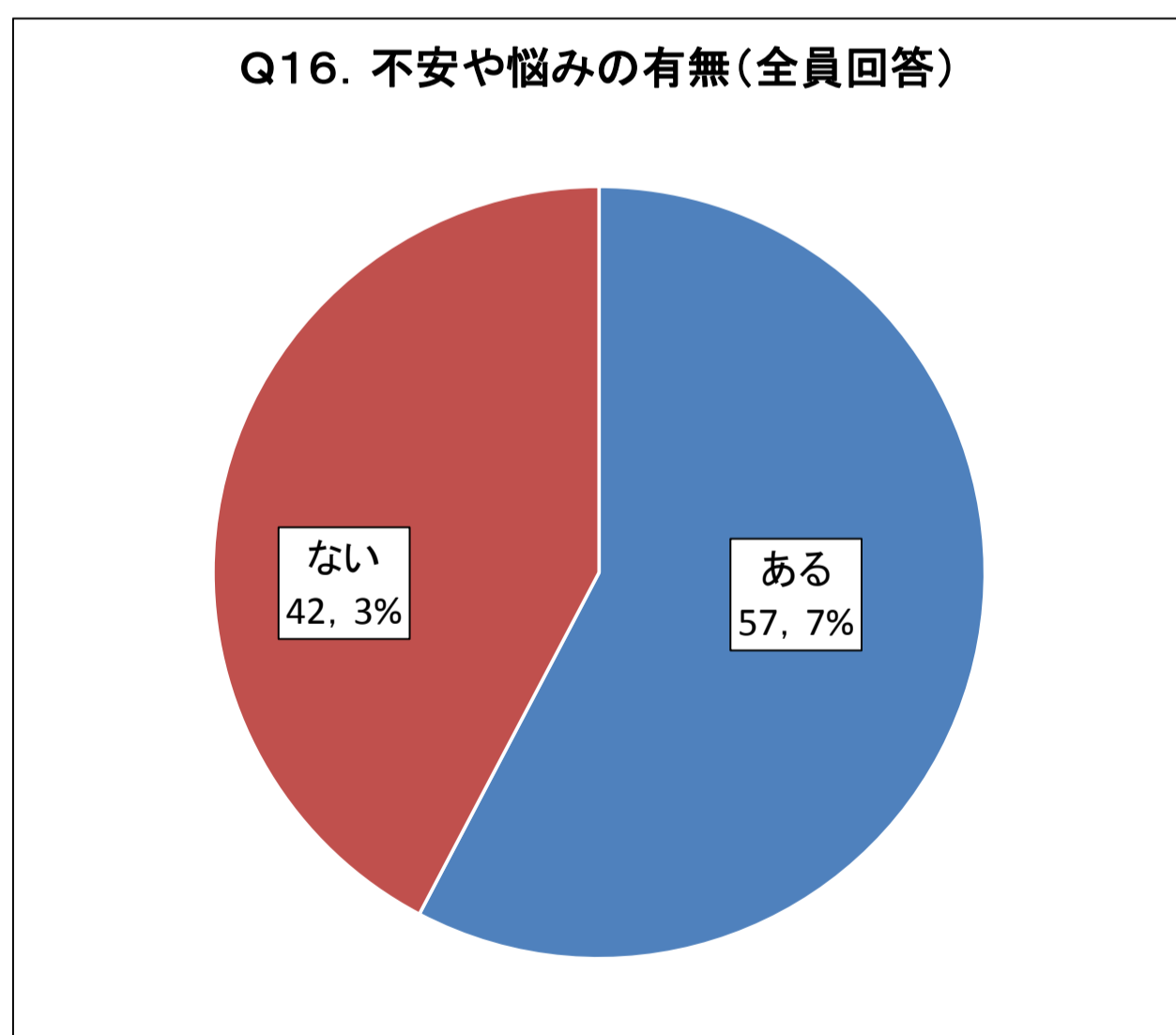


(5)不安・悩み

Q16. 不安や悩みの有無(全員回答)

	回答数	回答率
1. ある(Q17,Q18へ)	277	57.7%
2. ない	203	42.3%
計	480	480=100%

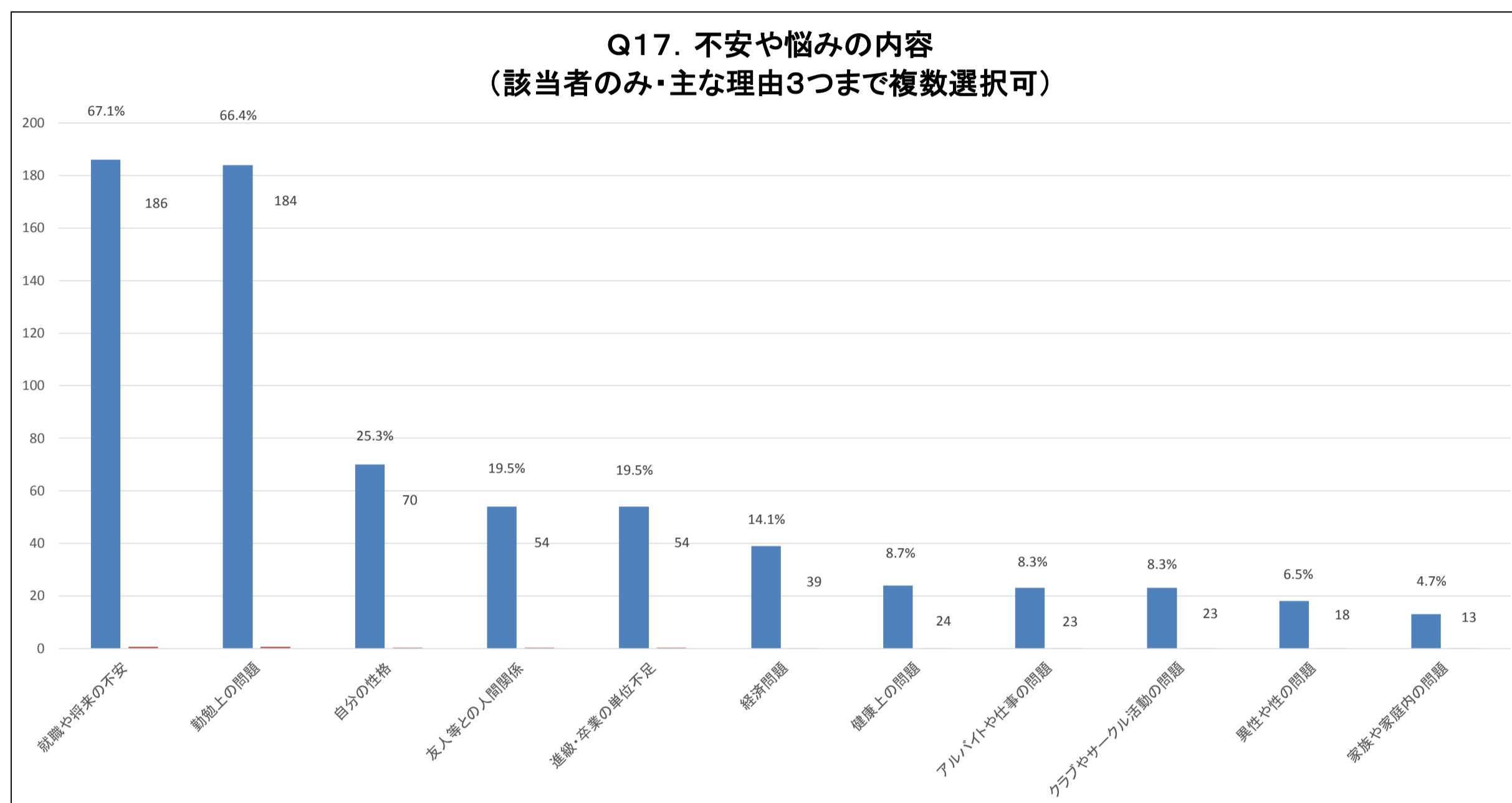
不安や悩みがあると答えた学生は57.7%おり、約6割にのぼる。それに対し、不安や悩みがないと答えた学生は42.3%であった。



Q17. 不安や悩みの内容(該当者のみ・主な理由3つまで複数選択可)

	回答数	回答率
就職や将来の不安	186	67.1%
勤勉上の問題	184	66.4%
自分の性格	70	25.3%
友人等との人間関係	54	19.5%
進級・卒業の単位不足	54	19.5%
経済問題	39	14.1%
健康上の問題	24	8.7%
アルバイトや仕事の問題	23	8.3%
クラブやサークル活動の問題	23	8.3%
異性や性の問題	18	6.5%
家族や家庭内の問題	13	4.7%
	688	277=100%

最も多い不安や悩みは、「就職や将来の不安」で67.1%であった。次いで、「勤勉上の問題」66.4%、「自分の性格」25.3%で自身の問題を上げている。以下に人間関係の「友人等との人間関係」「進級・卒業の単位不足」19.5%があげられている。



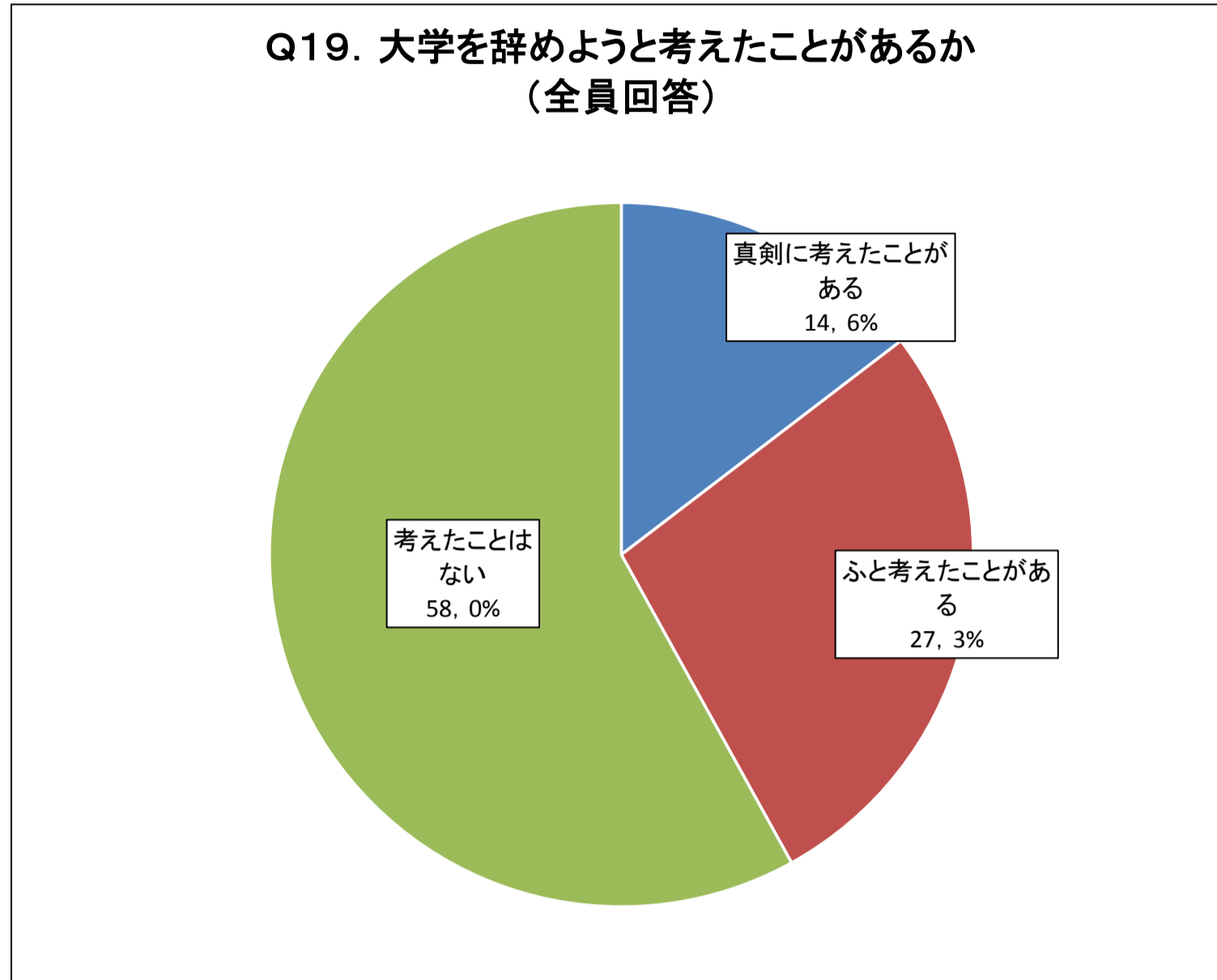
Q18. 不安や悩みの相談相手(自由回答を以下の欄に記入すること)

- ・チューター。
- ・教職員。
- ・恋人。
- ・学生サロンスタッフ。
- ・友人。
- ・先輩。
- ・家族。

Q19. 大学を辞めようと思ったことがあるか(全員回答)

	回答数	回答率
真剣に考えたことがある(Q20へ)	70	14.6%
ふと思ったことがある(Q20へ)	131	27.3%
考えたことはない	278	58.0%
計	479	479=100%

本学を辞めることを考えたことがある学生は、「真剣に考えたことがある」14.6%、「ふと思ったことがある」27.3%を合わせ、約4割いる。約6割の学生は、大学を辞めようと思ったことはない。



Q20. 大学を辞めようと思った理由(該当者のみ・あてはまるものすべて選択可)

	回答数	回答率
学業問題	156	50.3%
経済的な問題	50	16.1%
人間関係	36	11.6%
進路変更のため	35	11.3%
家庭の問題	18	5.8%
健康問題	15	4.8%
計	310	310=100%

大学を辞めようと思った理由は、「学業問題」が50.3%と最も高い。次いで、「経済的な問題」16.1%である。

